Biz Clip調査レポート（第12回）

BCPのICT化で見える会社の社員に対する“思い”

2018.04.11

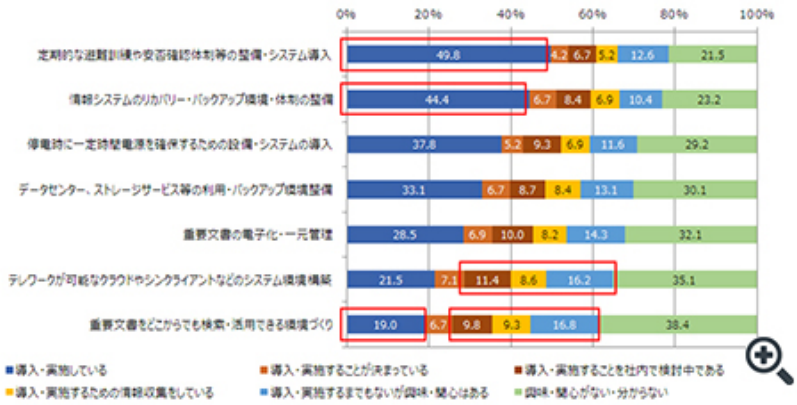
企業のBCP（事業継続計画）対策のICT化の状況はどのようなものか。日経BPコンサルティングのアンケートシステムAIDAにて、同社保有の調査モニター1941人を対象にアンケートを実施した。

ICTの導入状況は、従業員の安全関連から

BCP対策のICT化においては、「定期的な避難訓練や安否確認体制等の整備・システム導入」が最も導入・実施され、49.8％の企業が選択した。次いで、「情報システムのリカバリー・バックアップ環境・体制の整備」で、44.4％の企業が導入・実施している。一方、最も取り組まれていないのは、「重要文書をどこからでも検索・活用できる環境づくり」で、19.0％と2割程度の企業しか導入・実施を行っていない。

検討中、情報収集、興味関心があるという点で見ると、今後導入の可能性が最も高い項目は、「テレワークが可能なクラウドやシンクライアントなどのシステム環境構築」で、合わせて36.2％が選択。次いで「重要文書をどこからでも検索・活用できる環境づくり」の35.9％となった。この2つは導入・実施しているという回答では下位2項目に当たる。つまり今後、BCP対策のICT化として期待の高い項目といえる。

【図1 BCP対策のICT化の取り組み状況】



安否管理システムを最重視… 続きを読む